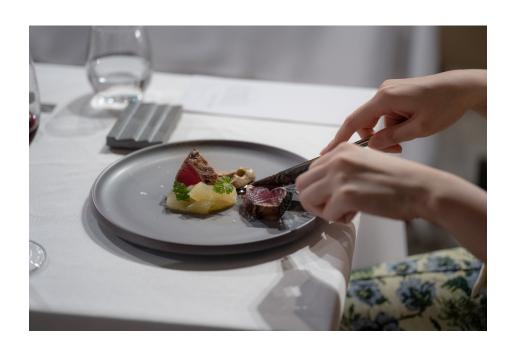
金沢ナイトミュージアム2022 永田康祐「Feasting Wild」開催のお知らせ



時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、金沢アートグミは、金沢ナイトミュージアム2022の一環として、永田康祐による新作「Feasting Wild」を2022年9月10~11日、17~19日の日程で開催します。

永田はこれまで、デジタル写真やオーディオガイドを用いたインスタレーションといった形式の作品に加えて、食文化や調理技術についてのリサーチをベースにした映像作品を発表していますが、近年ではそうしたリサーチをもとに、コース料理形式の作品を制作、発表しています。昨年には、東京三河島の元映画館にて「イーティング・ボディ」を開催し、料理とそのキャプションとしてのメニューを通じて、「食べる身体」の可塑性や、それをめぐる社会政治的関係について扱った作品を発表しました。

「Feasting Wild」は、「イーティング・ボディ」に続くコース料理形式の作品で、本イベントにむけて制作された新作です。本作にむけて永田は、食材となる動植物の生の管理に関心をもち、採集や養殖などにおける自然と人為の関係について文献・フィールドの両面からリサーチしつつ、食材の調査や調理法の実験を行ってきました。

本作では、このようなリサーチをもとにした、およそ10皿からなるコース料理と、5種類ほどのノンアルコールのペアリングドリンクを提供します。これらは「手つかずの自然」「家畜化」「野良になること」「荒れ地」などのテーマに沿って、キャプションとしての説明書きとともに提供されます。次々に提供されるテキストを読み、料理を食べる経験は、時間をともなう鑑賞体験という意味で映像作品やパフォーマンス作品のようでもありますが、永田は、こうしたコース料理形式の作品を「鑑賞者ではなく、作品のほうが動きまわるインスタレーション」であると捉え、複合的で演劇的な作品として作り上げています。

永田の実践を五感で体験できるおよそ1年ぶりの機会になります。つきましては、広報にご協力 を賜りたく伏してお願い申し上げます。

【概要】

タイトル:金沢ナイトミュージアム2022 永田康祐「Feasting Wild」

日程 : 9月10日(土),11日(日),17日(土),18日(日),19日(祝月)

時間 : 19:00開始(18:30開場)~約2時間半

会場 : karch (金沢市片町1丁目1-31香林居B1階)

料金 :12,000円 (フルコースディナー・ノンアルコールペアリングドリンク)

予約開始:8月9日(火)

主催 : NPO法人金沢アートグミ

共催 : 金沢芸術創造財団 協賛 :ニッコー株式会社

協力 : 四知堂 kanazawa、株式会社芸藝

後援(金沢ナイトミュージアム2022):北國新聞社、MRO北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金

沢、HAB北陸朝日放送、エフエム石川

【概要・予約ページ】

金沢ナイトミュージアムHP https://www.nightkanazawa.com/2022/09/feasting-wild.php 金沢アートグミHP https://www.artgummi.com/all-archives/10442/feasting-wild/

【問い合わせ先】

NPO法人金沢アートグミ

〒920-0907 石川県金沢市青草町88番地北國銀行武蔵ヶ辻支店3階

TEL: 076-225-7780

Mail: info@artgummi.com 担当:金谷(080-5855-5911)

【永田康祐プロフィール】

1990年愛知県生まれ。

現在、神奈川を拠点に活動。

社会制度やメディア技術、知覚システムといった人間が物事を認識する基礎となっている要素に着目し、あるものを他のものから区別するプロセスに伴う曖昧さについてあつかった作品を制作している。主な展覧会に『イート』(gallery α M、2020)、『トランスレーションズ展 - 「わかりあえなさ」をわかりあおう』(21_21 DESIGN SIGHT、2020)、『FALSE SPACES 虚現空間』(トーキョーアーツアンドスペース本郷、2019)、『あいちトリエンナーレ2019:情の時代』(愛知県美術館、2019)、『オープンスペース2018:イン・トランジション』(NTTインターコミュニケーションセンター、2018)、『第10回恵比寿映像祭:インヴィジブル』(東京都写真美術館、2018)などがある。また、主なテキストとして「Photoshop以降の写真作品:「写真装置」のソフトウェアについて」(『インスタグラムと現代視覚文化論』所収、2018)など。

http://knagata.org/

【参考画像】

※画像が必要な方はこちらからダウンロードをお願いいたします。ご使用の際には、フォトクレジット(Photo: Takuya Igarashi)を添えていただきますようお願いいたします。

https://drive.google.com/drive/folders/1_KPzqi462CbITBHdevynufcK7HjlCJAC?usp=sharing ※写真は昨年のイベント「Eating Body」の際のメニューです。今回の提供内容は全て新たに制作したものになります。







各料理は、作品概要やレシピを記載したキャプション とともに提供されます。

Photo: Takuya Igarashi